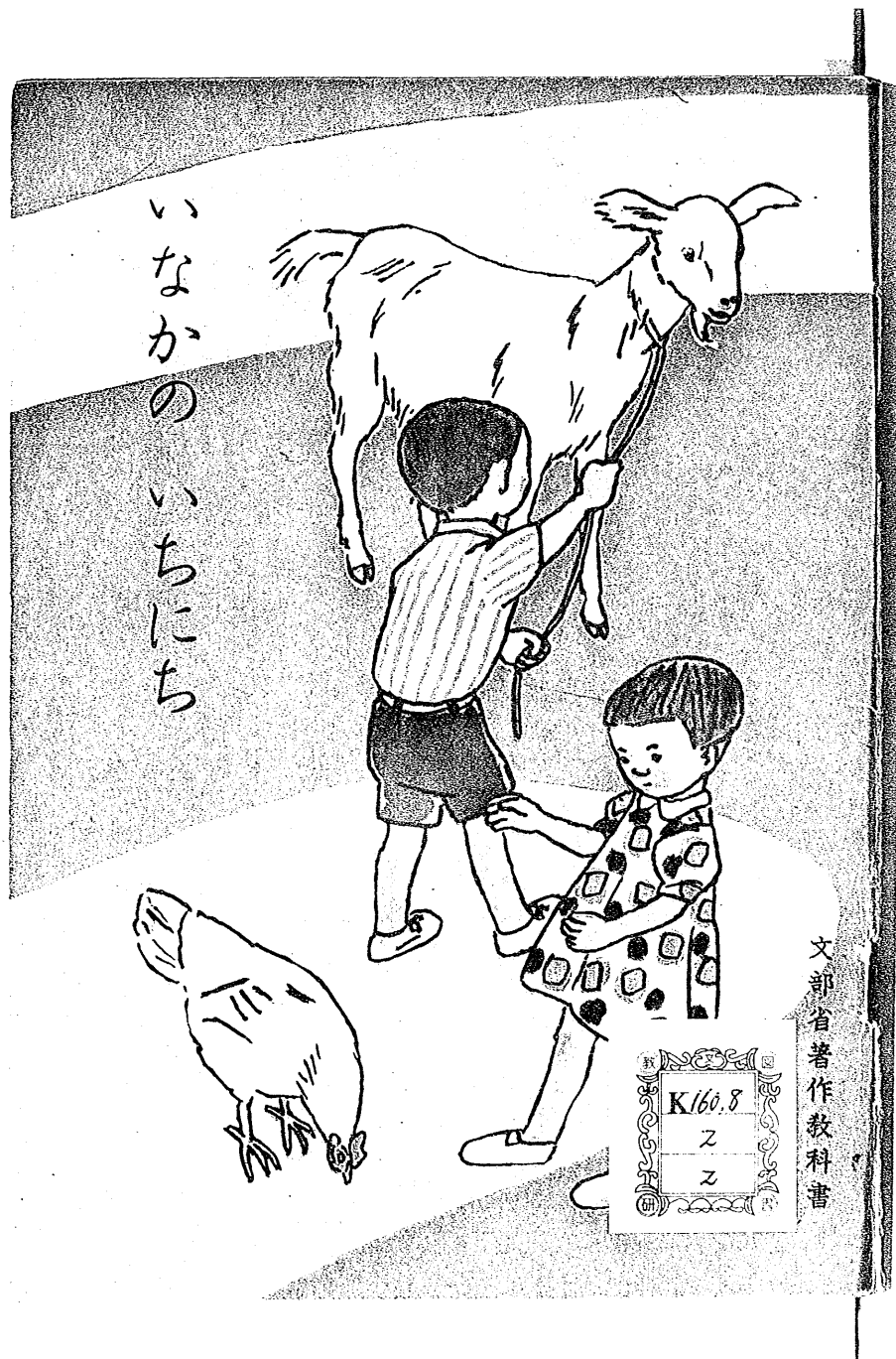




D6

326





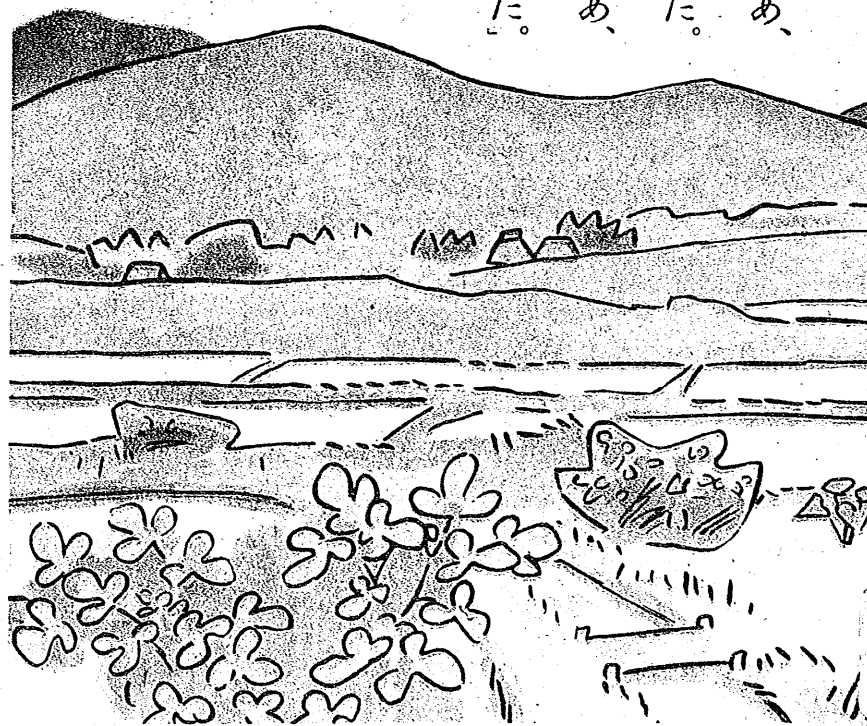
子

かあ、かあ、かあ、  
 よが あけた。  
 かあ、かあ、かあ、  
 よが あけた。

子

子

子



子

よが あけた  
 こけこつこつ、  
 よが あけた。  
 こけこつこつ、  
 よが あけた。



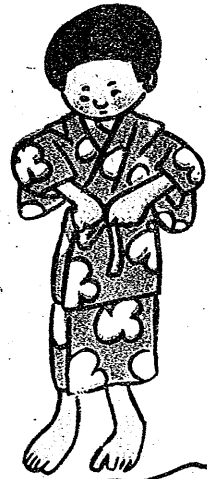


めえ、めえ、めえ、  
おはよう。  
めえ、めえ、めえ、  
おはよう。



おはよう  
ちゅん、ちゅん、ちゅん、  
おはよう。  
ちゅん、ちゅん、ちゅん、  
おはよう。

おきました

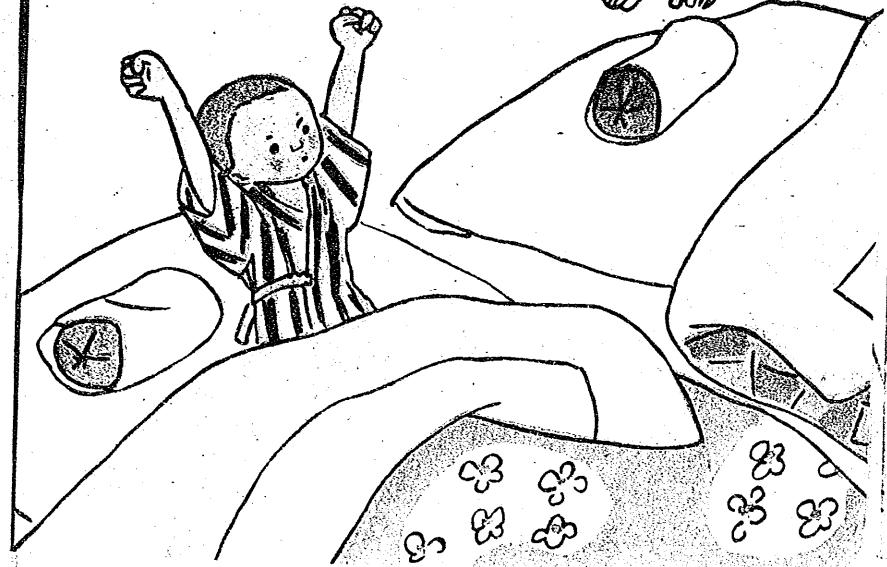


ただおさんが

おきました。

ゆりこさんも

おきました。



ふたりは

かおを あらいました。



と、ただおさんが いました。

うれしいな。

きょうは にちようびで

「きれいな いろだ。」

と、ゆりこさんが いました。

「きれいな くもね。」

ばらいろの くも。

きんいろの くも、

あさの くも



あさの てつだい

ただおさんは、

やぎを こやから だしました。

「めえ、めえ、めえ、

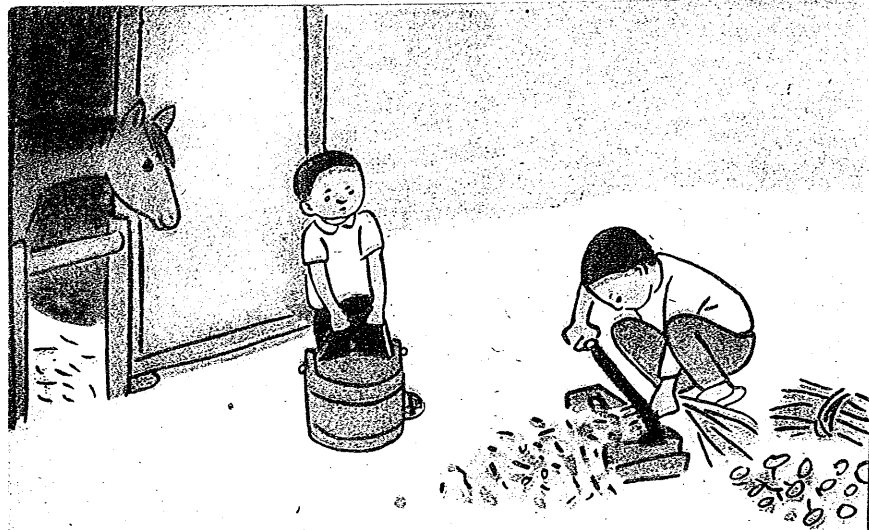
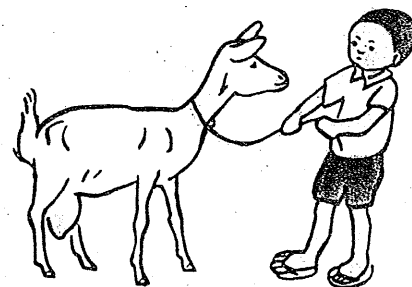
ただおさん ありがとう。」

ゆりこさんは、

うさぎに えさを やりました。

「くく、くく、

ゆりこさん ありがとう。」



にいさんは、

まぐさを きつて います。

ただおさんは、

きつた まぐさを

うまに やります。

「ひひん、ひひん、

ごちそうさま。」

たうえ

じゃぼ、じゃぼ、じゃぼ。  
 おとうさんが、たんぼを  
 ならして います。  
 じゃぼ、じゃぼ、じゃぼ。  
 うまも、たんぼを  
 ならして います。

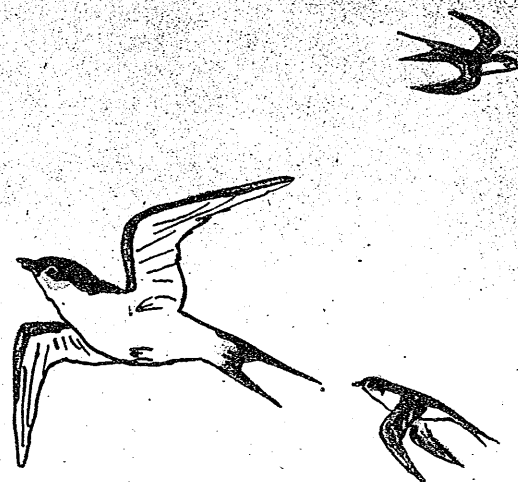
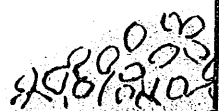
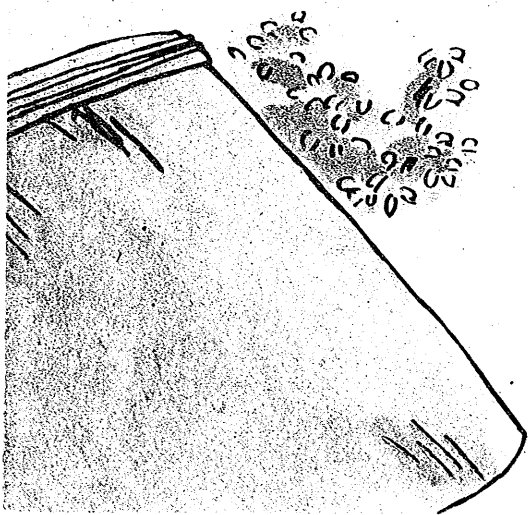
おかあさんが、  
 たうえを して います。  
 にいさんも、  
 たうえを して います。  
 あちらでも、  
 こちらでも、  
 たうえを して います。





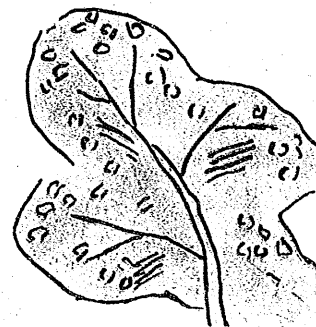


ちゅうがえりして  
とんでいく。



すいすい、すいすい、  
とんでくる。  
つばめが、ひくく  
とんでくる。  
ひらり、ひらり、  
とんでいく。

つばめ



おべんとう

おばあさんが、

みんなの おべんとうを

こしらえました。

ただおさんが

おべんとうを もちました。

ゆりこさんが

やかんを もちました。



おたまじゃくし

とちゅうで、

おたまじゃくしを

みつけました。

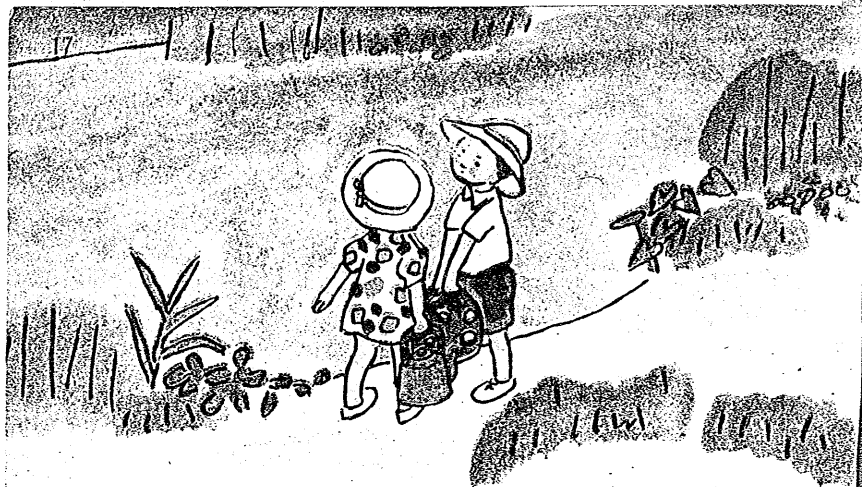
「おたまじゃくしが

たくさん いるよ、

に いさん。」

と、 ゆりこさんが

いいました。



「おたまじやくしをとろうよ。  
 と、ただおさんがいいました。  
 とつてちようだい。  
 と、ゆりこさんがいいました。  
 おたまじやくしを  
 てですくいました。  
 おたまじやくしは  
 いそいでにげました。  
 ちよろちよろにげました。」



「とれた、  
とれた。」

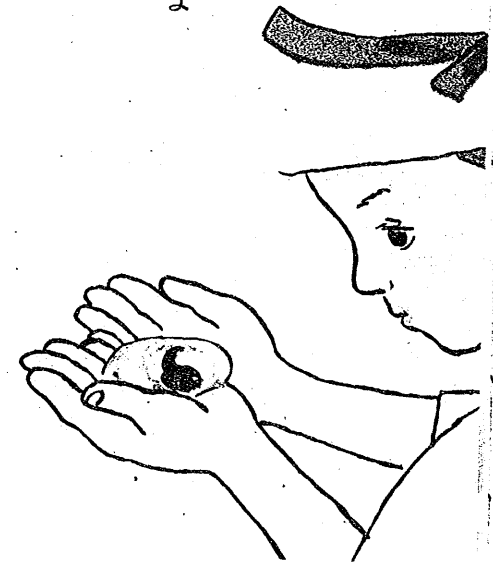
ただおさんが、おおきな  
こえて、いいました。

「およう、およう、」

おたまじやくしが およう。

ふたりは

おたまじやくしを みました。



「くるしそうだね。」

と、ただおさんが いいました。

「にがしましうか。」

「にがそうか。」

おたまじやくしは にげました。

ちよろちよろ

にげました。



おひる

「あ、もう、

おひるに なった。

と、ただおさんが

いいました。

「みんな おなかが

すいて いるでしょう。

と、ゆりこさんが いいました。



「さ、はやく

もつて いこう。

「いそいで

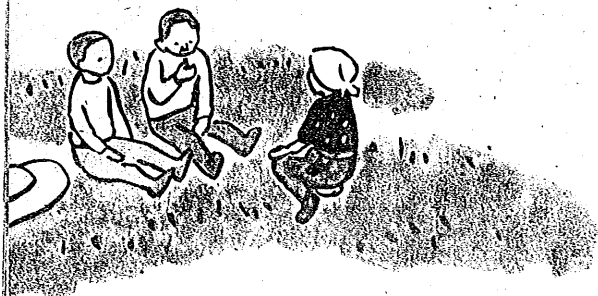
いきましよう。」

おとうさんが

やすんで いました。

おかあさんも いさんも、

やすんで いました。



「おそく なって すみません。」  
 「どうして おそく なったの。」  
 と、 おとうさんが いいました。  
 「おたまじやくしを とつて  
 あそんで いたの。」  
 と、 ただおさんが いいました。  
 「おもかつたでしょう。」  
 ごくろうさん。  
 と、 おかあさんが いいました。



おいしい、おいしい  
 おべんとう。  
 たのしい、たのしい  
 おべんとう。  
 そらには、ひばりが  
 ないて いる。  
 ぴいちく、ぴいちく、  
 ないて いる。



みつばちと ちょうちよ



ぶんぶん、ぶんぶん。  
みつばちが、  
はなの みつを  
すつて  
いる。



ひらひら、ひらひら。  
しろい ちょうちよが、  
はなの みつを  
すつて  
いる。



かるく なった

おいしい おべんとうを たべました。

「ただおさん、おべんとうばこを

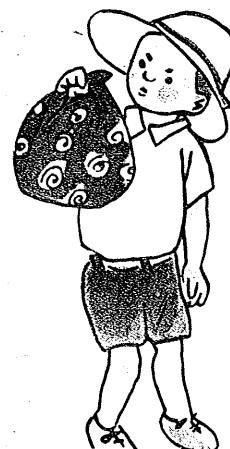
もって おかえり。」

と、にいさんが いいました。

ただおさんは おべんとうばこを  
もちました。

「あ、かるく なった。」

「ゆりこさんは、



やかんを もって おかえり。」

と、おかあさんが いいました。

ゆりこさんは やかんを もちました。

「あ、かるく なった。」





みずぐるま

ふたりは、

どての みちを

かえりました。

「みずぐるまは、

どうして まわるの。」

と、 ゆりこさんが ききました。

「みずの ちからで



まわるのさ。」

と、 ただおさんが いいました。

「みずは どこから くるの。」

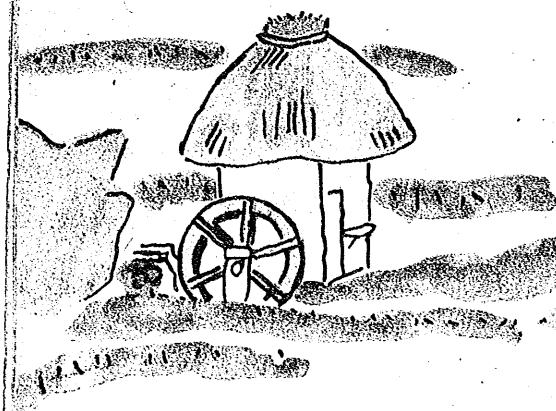
「あの やまから くるのさ。」

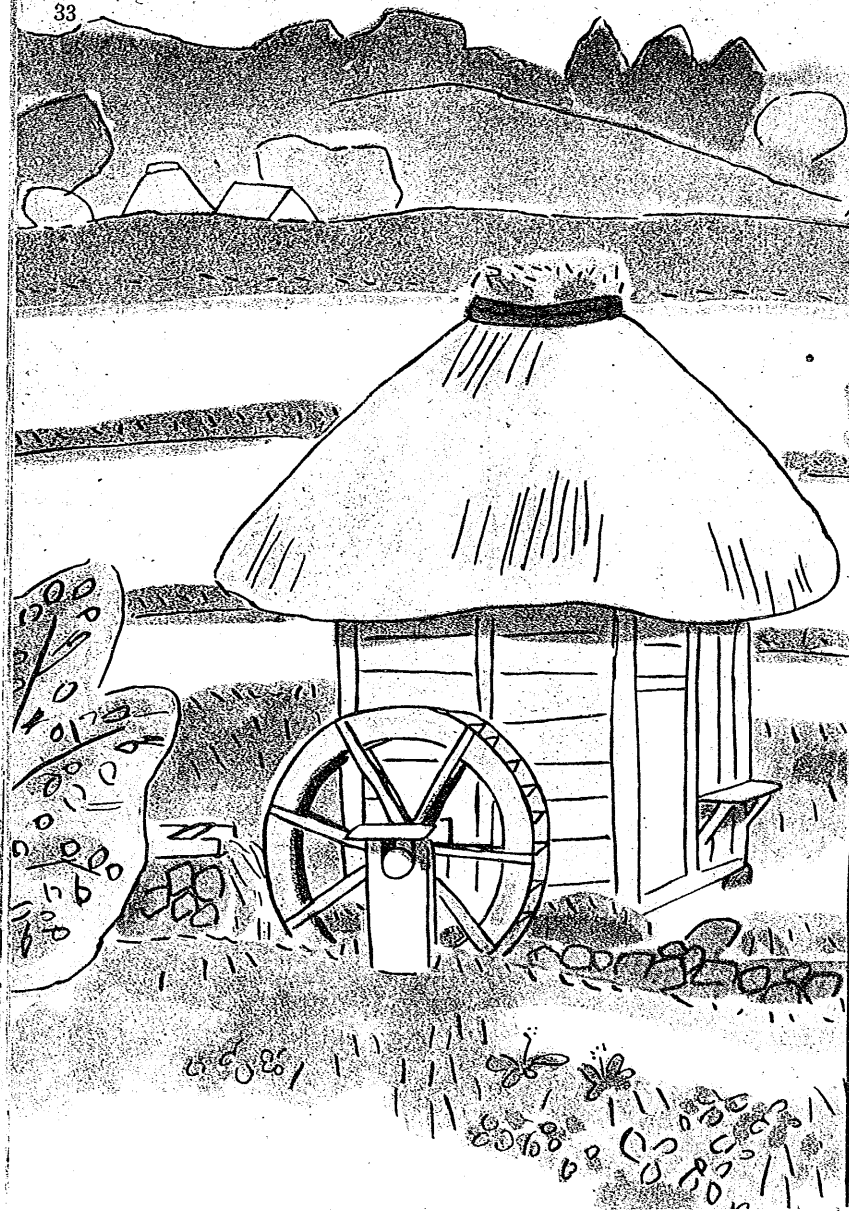
「みずぐるまは、 ぐるぐる

まわって なにを するの。」

「おこめを

つくんだよ。」





ふるい、おおきな  
みずぐるま。

ぐるぐる まわる

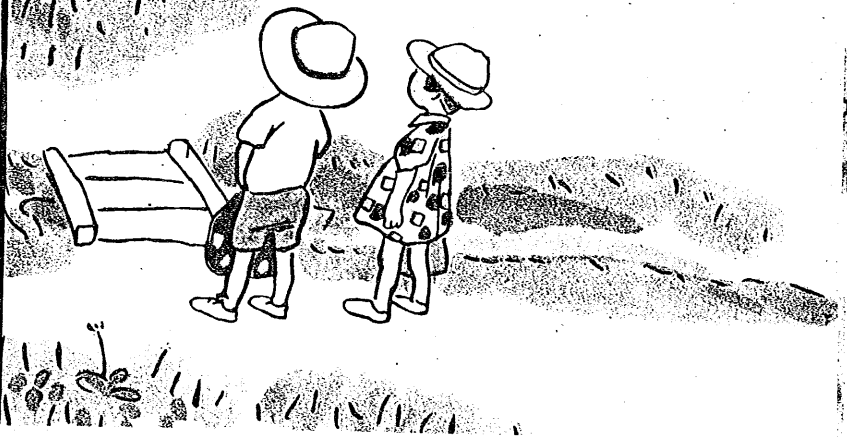
みずぐるま。

あさから ばんまで

ぐるぐる まわり、

はたらく はたらく

みずぐるま。

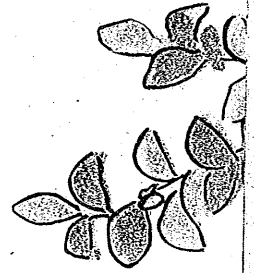


「おばあさん、  
 たいま。  
 ごくろうさん。  
 はい、おべんとうはこ。  
 おばあさん、はい、やかん。  
 はい、はい、ごくろうさん。  
 おべんとうはおいしかったかい。  
 ほら、みんなたべてしまった。」



おばあさん





## つばめ

つばめが とんで きました。  
 のきしたの すの なかに  
 はいりました。

「つばめは、すの なかで  
 なにを するの。」

と、ただおさんが ききました。  
 「たまごを あたためるのよ。」  
 と、ゆりこさんが いいました。



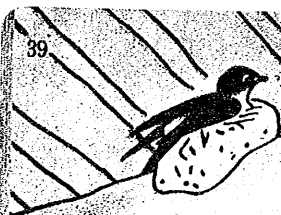
「おばあさん、あの つばめ、  
どこから きたの。」  
「どおい、どおい みなみの  
ほうから  
きたのよ。」

「きよねんも、ここに すを  
かけましたね。」

「そうね。きよねんと おなじ つばめよ。」

「おなじ つばめなの。」

「おなじ つばめですよ。」



「どんな どおい ところに  
いつても、この うちに くるの。」

「きますとも。」

「ほかの むらに いかないの。」

「いきませんよ。」

「ほかの うちにも いかないの。」

「いきませんよ。」



はがき

ゆうびんを  
はこぶ おじさんが  
きました。

「はい、ゆうびん。」

と いった、はがきを おいて  
いきました。

おばあさんが、

「おじさんから ただおに  
きましたよ。」  
と いいました。



おばあさんが  
はがきをよみました。  
「ただおくん、  
いちねんになつて  
うれしいね。  
なんと、いう  
せんせいだ。」

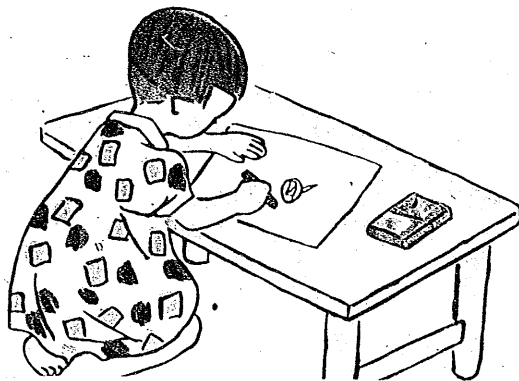


うちでは、  
みんなじょうぶだ。  
こうしがうまれたよ。  
『くろ』と  
なをつけた。  
これが『くろ』だよ。

「ただおさん、えをかいて、おじさんにごへんじをあげなさい。」と、おばあさんがいいました。ただおさんはえをかきました。やぎをかきました。うさぎもかきました。くれよんでいろをぬりました。

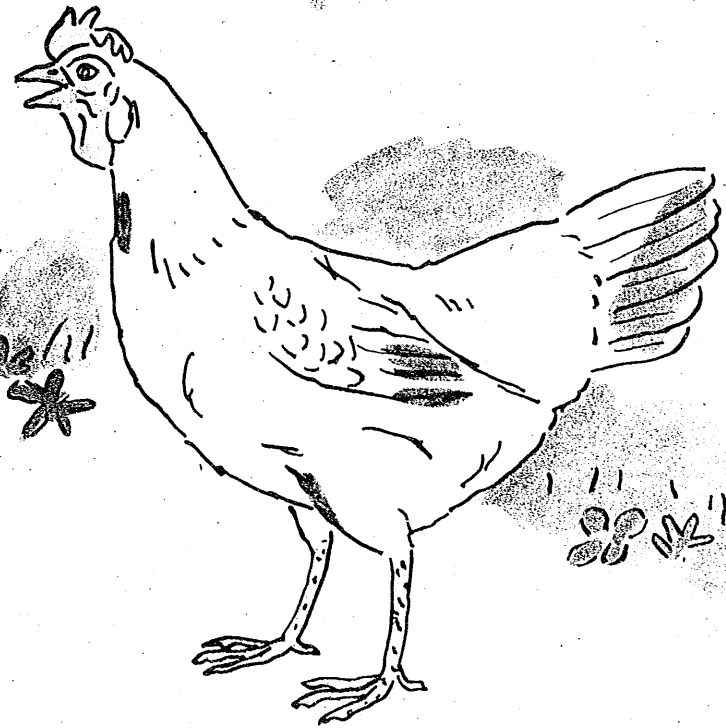


ゆりこさんが、「わたしもかきたいな。」と、いいました。そうして、おたまじやくしをかきました。おばあさんは、それをみて、よくかけました。おじさんが、よろこびますよ。」と、いいました。





たまご



めんどりが なきました。

「こけっこっこ」こけっこっこ。

めんどりは、たまごの そばから はなれて、

「こけっこっこ、こけっこっこ、

たまごは

みつかりませんよ。

と いって

なきました。



ゆりこさんが とりごやを  
さがしました。  
わらの なかに たまごが  
ありました。

「めんどりさん、  
みつけましたよ。」

これ、これ、ありましたよ。

と いて、ゆりこさんが たまごを  
とりあげました。

「こけっこっこ、とうとう  
みつけられた。」  
と、めんどりが いいました。



「おばあさん、はい、たまご。」  
 「おう、よく、たまごを みつけましたね。」



なにを こしらえましょうか。  
 「たまごやきにして ちょうだい。」  
 と、ただおさんが いいました。  
 「わたしには、おかしを こしらえて。」  
 と、ゆりこさんが いいました。



うさぎ

うさぎが

こやから にげました。

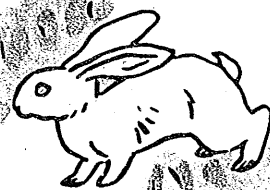
ただおさんが おいかけてました。

ゆりこさんも

おいかけました。

うさぎは、

ぴよんぴよん にげます。



ただおさんは

まえから ちかよりました。

ゆりこさんは

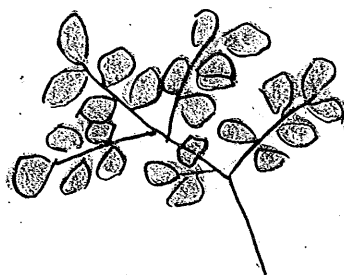
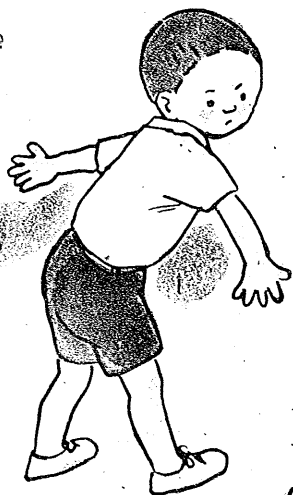
うしろから

ちかよりました。

ふたりは

いつしよに

つかまえました。



「わたしがつかまえたのよ。  
 ぼくがつかまえたんだよ。」

「いや、わたしよ。」

「いっしょだね。」

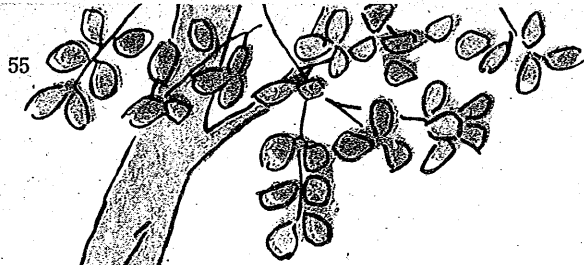
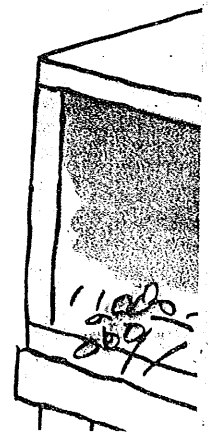
うさぎをこやに  
 いれました。

「わるい　うさぎさんね。」

と、ゆりこさんがいいました。

「もう、にげてはいけないう。」

と、ただおさんがいいました。



あひる

「があ、があ、があ。」

「となりの あひるが

きましたよ。」

と、 ゆりこさんが

いいました。

「うちの

にわとりと

なかよしだね。」

と、 ただおさんが いいました。

「があ、があ、こここ。」

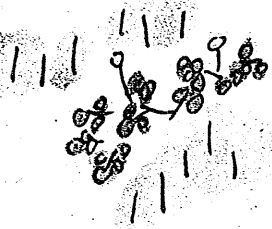
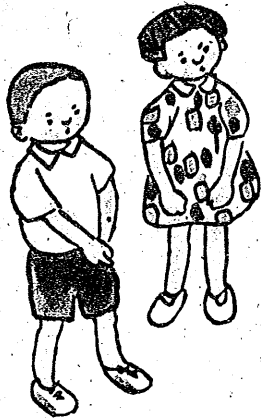
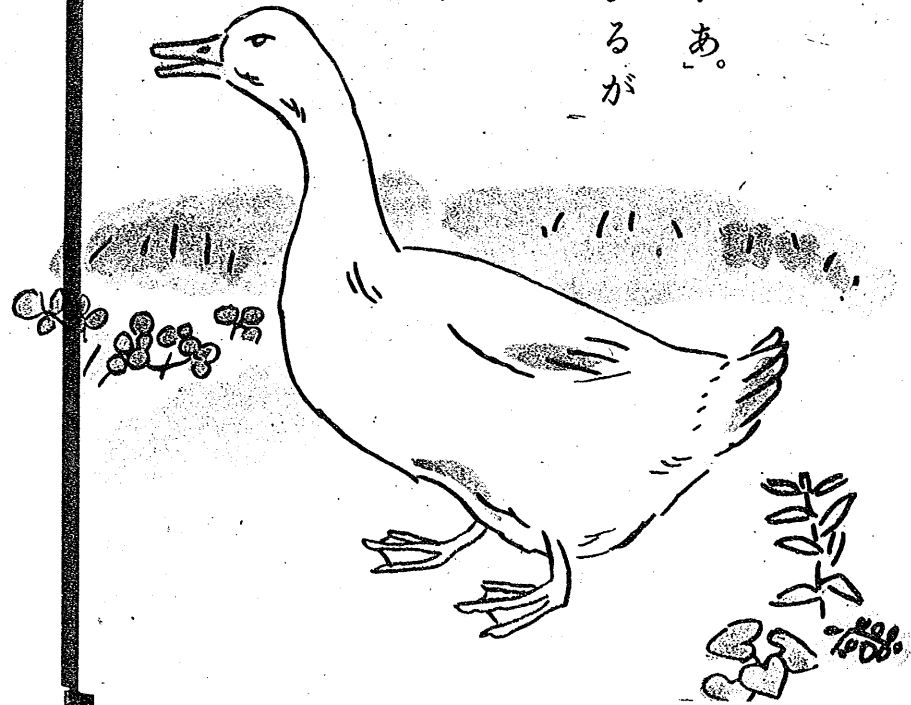
「があ、があ、こここ。」

「なに おはなし して いるの。」

「があ、があ、

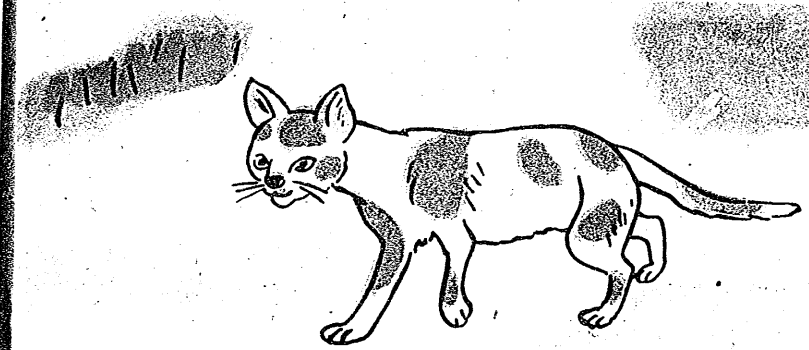
こここ。では

わからないね。」





むかいました。  
 のらねこは、びっくりして、  
 にげました。  
 ひよこは また  
 あそびました。



のらねこが きました。  
 あひるは にげました。  
 おやどりは、  
 「ここ、ここ。」  
 と いて、 ひよこを  
 あつめました。  
 おやどりは のらねこに

のらねこ

たんぽに くもが うつります。  
 ふたりで うたいました。  
 ただおさんと ゆりこさんと、  
 あした てんきに なあれ。

「ゆうやけ こやけ、  
 きんいろの くも、  
 ゆうがたに なりました。」  
 ぱらいろの くも。

ゆうやけ





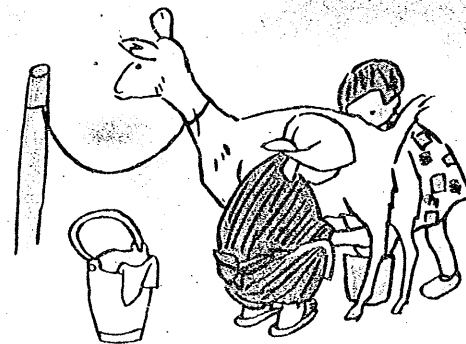
ぱちぱち、  
 ぱちぱち。  
 ひが もえる。  
 おふろ、  
 わけ わけ、  
 ひが もえる。



ただおさんは、しばを はこんで います。  
 ゆりこさんは、ひを ふいて います。

おふろ  
 おばあさんが、おふろを わかして います。





ゆうがたの てつだい

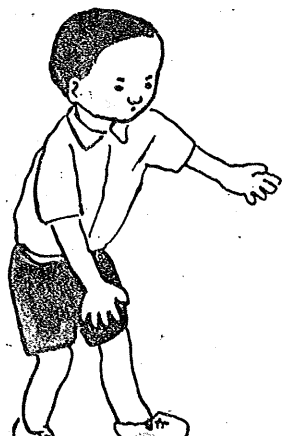
おばあさんは、  
やぎの ちちを しぼりました。  
ゆりこさんは、  
それを てつだつて います。

かえるが なきだしました。

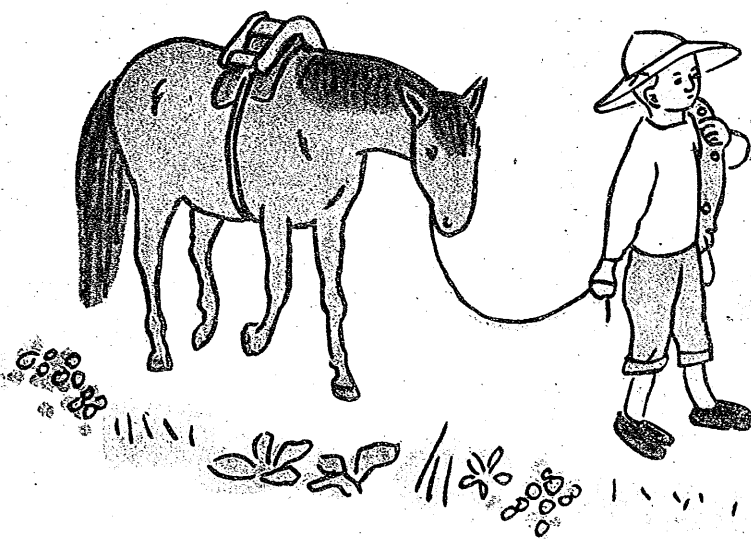
げく、げく、げげげ、  
げく、げく、げげげ。

ただおさんは、  
やぎを こやに いれました。  
にわとりも、あつめて  
こやに いれました。

いちばんぼし  
みつけた。  
にばんぼし  
みつけた。



みんな  
つかれて  
います。  
おなが  
が  
すいて  
います。



ゆうがた

おとうさんが、  
たんぼから  
かえつて  
きます。  
おかあさんも、  
にいさんも、  
たんぼから  
かえつて  
きます。  
うまも、  
たんぼから  
かえつて  
きます。



ゆりこさんが、

「おふろが わきましたよ。」

と、 おおきな こえで いいました。

おとうさんが おふろに はいりました。

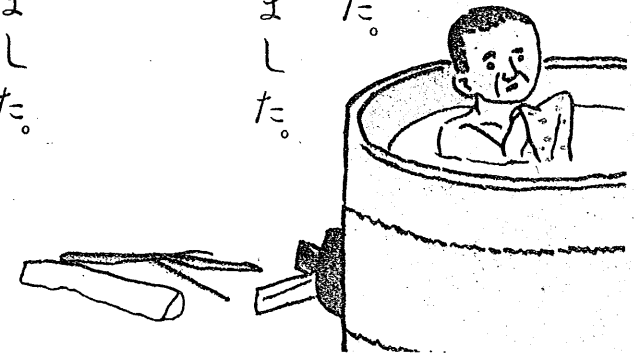
「ああ、 いい おふろだ。」

つかれが なおる。

おかあさんも おふろに はいりました。

「いい おふろだ こと、

ほんとうに ありがとう。」



にいさんは、 うまの からだを

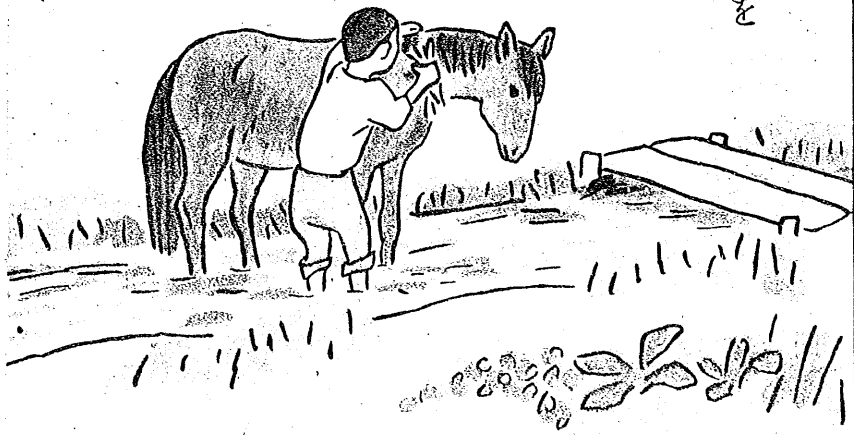
あらって います。

にいさんも

おふろに はいりました。

みんな、 かわるがわる

おふろに はいりました。



ろばた

ばんごはんが すみました。  
 ろばたに、おばあさんが すわりました。  
 おとうさんも すわりました。  
 おかあさんも すわりました。  
 にいさんも すわりました。  
 ただおさんも、ゆりこさんも  
 すわりました。  
 しばが、ぱちぱち もえて  
 います。

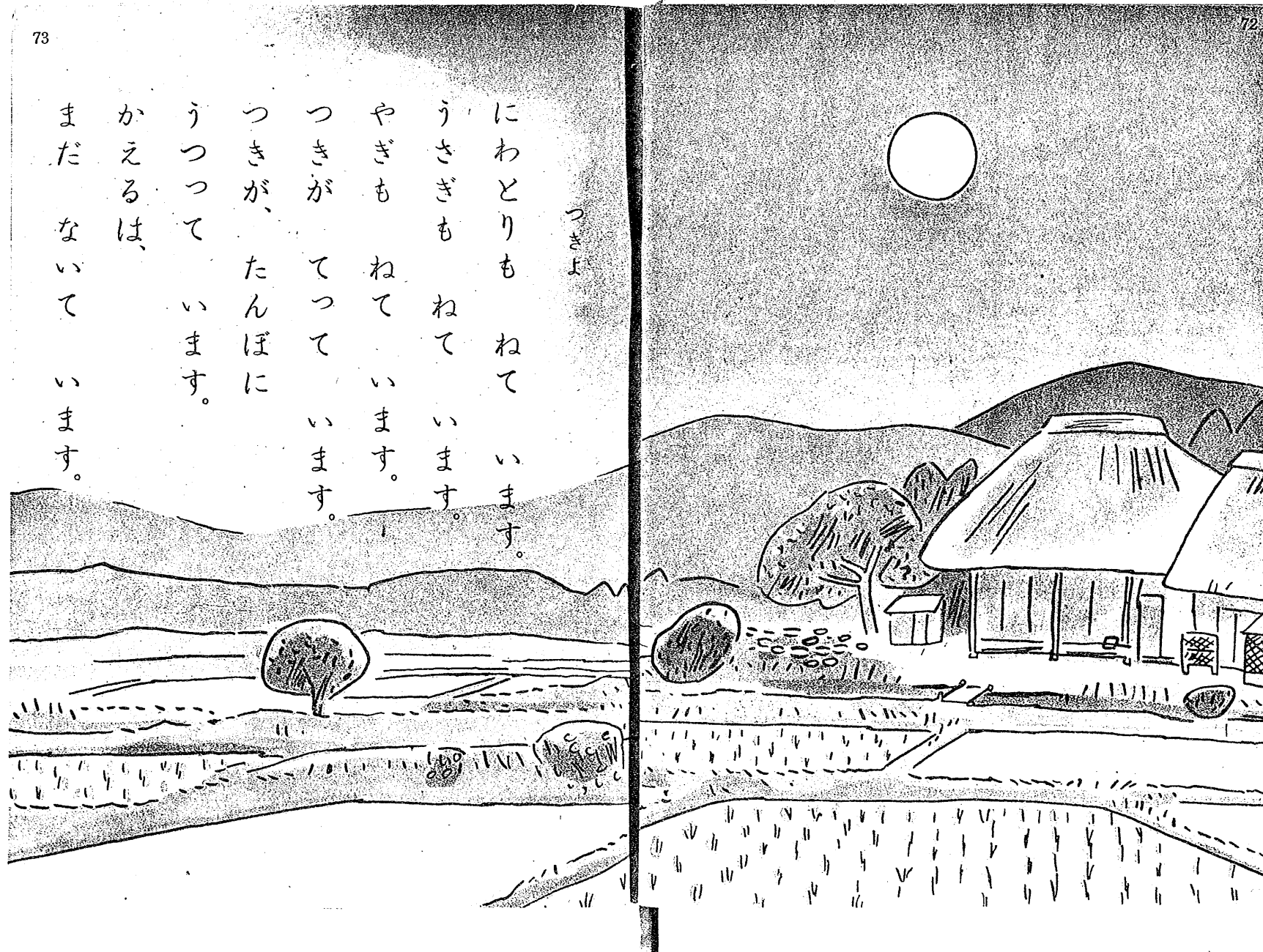


おばあさんが  
 むかしばなしを  
 はじめました。  
 「むかし、むかし。  
 と はなしました。  
 ただおさんも、ゆりこさんも、  
 にこにこ して きいて います。  
 ろの ひが、  
 みんなの かおを てらします。



にわとりも ねて います。  
 うさぎも ねて います。  
 やぎも ねて います。  
 つきが てつて います。  
 つきが たんぽに  
 うつつて います。  
 かえるは、  
 まだ ないて います。

つきよ



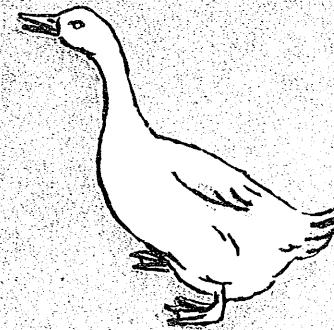
## あたらしい ことば

|            |             |              |
|------------|-------------|--------------|
| 2 よ(夜)     | えさ          | (とろ)う        |
| あける—あけ(た)  | やる—やり(ました)  | ちょ うだい       |
| (あけ)た      | くくく         | て(手)         |
| こけこっ こう    | 11 にいさん     | すくう          |
| 3 かあ       | まぐさ         | —すくい(ました)    |
| 4 ちゃん      | きる—きつ(て)    | いそいて         |
| 5 めえ       | うま          | にける          |
| 6 おきる      | ひひん         | —にげ(ました)     |
| —おき(ました)   | ごちそうさま      | ちょろちょろ       |
| ただお(さん)    | 12 たうえ      | 19 —         |
| ゆりこ(さん)    | じゃぼ         | 20 とれる—とれ(た) |
| 7 ふたり      | たんぼ         | こえ           |
| かお         | ならす—ならし(て)  | およぐ          |
| あらう        | 13 あちら      | 21 くるしい      |
| —あらい(ました)  | こちら         | —くるし(そうだ)    |
| 8 あさ       | 14 つばめ      | (くるし) そうだ    |
| 9 きんいろ     | すいすい        | にがす          |
| ばらいろ       | とぶ—とん(て)    | —にがし(ましょ う)  |
| ね(助)       | ひくい—ひくく     | 22 おひる       |
| と(助)       | ひらり         | あ(感)         |
| いう—いい(ました) | 15 ちゃうがえり   | もう           |
| いろ         | 16 おべんとう    | なる—なっ(た)     |
| (いろ)だ      | おばあさん       | おなか          |
| きょう        | こしらえる       | すく—すい(て)     |
| にちょうび      | —こしらえ(ました)  | (いる)てしよ う    |
| うれしい       | もつ—もち(ました)  | 23 さ(感)      |
| (うれしい)な    | やかん         | はやい—はやく      |
| 10 てつだい    | 17 おたまじゃくし  | やすむ—やすん(て)   |
| やぎ         | とちゅう        | 24 おそい—おそく   |
| こや         | みつける        | すみません        |
| から(助)      | —みつけ(ました)   | どうして         |
| だす—だし(ました) | たくさん        | おもしろい        |
| ありがとう      | よ(助)        | —おもしろかっ(た)   |
| うさぎ        | 18 とる—とろ(う) | ごくろうさん       |

- 25 おいしい  
たのしい  
そら  
ひばり  
なく—ない(て)  
びいちく  
26 みつばち  
ちょうちょ  
ぶんぶん  
みつ  
すう—すう(て)  
27 ひらひら  
28 かるい—かるく  
たべる  
—たべ(ました)  
おべんとうばこ  
29 —  
30 みずぐるま  
どて  
みち  
かえる  
—かえり(ました)  
まわる  
きく—きき(ました)  
みず  
ちから  
31 どこ  
あの  
やま  
ぐるぐる  
おこめ  
つく—つく(んだ)  
32 ふるい  
ばん  
まで(助)  
はたらく  
33 —
- 34 —  
35 (おいしかった)かい  
ほら(感)  
しまう—しまっ(た)  
36 のきした  
す(集)  
なか  
はいる  
—はいり(ました)  
たまご  
あたためる  
37 —  
38 とおい  
みなみ  
ほう(方)  
きょねん  
ここ  
かける  
—かけ(ました)  
39 そう  
おなじ  
どんな  
ところ  
ても(助)  
この  
うち  
とも(助)  
ほか  
むら  
(いか)ない  
(いき)ません  
40 はがき  
ゆうびん  
はこぶ  
おじさん  
おく—おい(て)  
41 —
- 42 よむ—よみ(ました)  
(ただお)くん  
いちねん  
なん(と)  
43 じょうぶだ  
こうし  
うまれる  
—うまれ(た)  
くろ  
な(名)  
つける—つけ(た)  
これ  
44 え(絵)  
かく—かい(て)  
ごへんじ  
あげる  
—あげ(なさい)  
くれよん  
ぬる—ぬり(ました)  
45 わたし  
(かき)たい  
そうして  
それ  
よい—よく  
かける—かけ(ました)  
よろこぶ  
—よろこび(ます)  
46 —  
47 めんどり  
こけっ こっこ  
そば  
はなれる  
—はなれ(て)  
みつかる  
—みつかり(ません)  
48 とりごや

- さがす  
—さがし(ました)  
わら  
ある—あり(ました)  
とりあげる  
—とりあげ(ました)  
49 とうとう  
られる—られ(た)  
50 おう(感)  
51 たまごやき  
おかし  
52 おいかける  
—おいかけ(ました)  
びょんびょん  
53 まえ  
ちかやる  
—ちかより(ました)  
うしろ  
いっしょ  
つかまえる  
—つかまえ(ました)  
54 ぼく  
いや  
いれる  
—いれ(ました)  
わるい  
いけない  
55 —  
56 あひる  
があ  
となり  
にわとり  
57 なかよし  
おはなし  
わかる  
—わから(ない)  
58 のらねこ
- おやどり  
ひよこ  
あつめる  
—あつめ(ました)  
59 むかう  
—むかい(ました)  
びっくり  
また(又)  
60 —  
61 ゆうやけ  
ゆうがた  
こやけ  
あした  
てんき  
なあれ  
うたう  
—うたい(ました)  
うつる  
—うつり(ます)  
62 おふろ  
わかす—わかし(て)  
63 しば  
ひ(火)  
ふく—ふい(て)  
ばちばち  
もえる  
わく—わけ  
64 ちち  
しほる  
—しほり(ました)  
かえる(動物の名)  
なきだす  
—なきだし(ました)  
げく  
げげげ  
65 いちばんほし  
にばんほし
- 66 —  
67 つかれる  
—つかれ(て)  
68 ああ(感)  
いい  
つかれ  
なおる  
(いい おふろだ)こと  
ほんとうだ  
—ほんとうに  
69 からだ  
かわるかわる  
70 ろばた  
ばんごはん  
すむ—すみ(ました)  
すわる  
—すわり(ました)  
71 むかしばなし  
はじめる  
—はじめ(ました)  
むかし  
はなす  
—はなし(ました)(話)  
にこにこ  
ろ(所)  
てらす—てらし(ます)  
72 —  
73 つきよ  
ねる—ね(て)  
つき  
てる—てっ(て)  
まだ





Approved by Ministry of Education  
(Date. Apr. 7, 1949)

| 著作権所有     |               | 文 部 省 |
|-----------|---------------|-------|
| 翻 刻 印 刷   | 昭和 24. 4. 18. |       |
| 翻 刻 発 行   | 昭和 24. 5. 10. |       |
| 文 部 省 検 査 | 昭和 24. 5. 10. |       |
| 翻 刻 発 行 者 | 日本書籍株式会社      |       |
|           | 代表者 木村尚之助     |       |
|           | 東京・文京・久野108   |       |
| 印 刷 者     | 共同印刷株式会社      |       |
|           | 代表者 大塚孝雄      |       |
|           | 東京・文京・久野108   |       |

¥ 36.30